

2020 年度実施概要

学校名

神戸市立浜山小学校

採択活動名

「浜っ子地域学習」～兵庫運河と茅渚の海から学ぶ命の学習～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. あさりプロジェクト	3年	総合
2. 兵庫漁協の仕組みと仕事	5年	社会
3. 新しい浅場「あつまれ生き物の浜」の生き物を調べよう	1～6年	生活・総合

取り組みの概要

1. <3年生「あさりプロジェクト」>

「兵庫運河を再生するプロジェクト」の事業として「あさりプロジェクト」を実施。兵庫運河に自生するあさり（遺伝子上、昔から神戸に生息しているといわれているあさり）を、人工の砂浜「浜っ子きらきらビーチ」で飼育し、保護活動と共に生態の観察を行う。合わせて、浜辺環境の向上を図り、様々な生き物が育つ環境に変えていく取り組みを行っている。



2. <5年生「兵庫漁協の仕組みと仕事」>

社会科や総合で地元の兵庫漁協に協力していただき、漁船からの水揚げの様子や水揚げした魚の生簀での飼育の様子、撮影した漁の様子をビデオで見るなど、体験や疑似体験をもとに学ぶ。特に、実際に生きた魚を生き締めしたり、さばいたりするところを見せ、命に対する漁師の思いを伝えていただく。食育や道徳にもつながる内容である。



3. <新しい浅場「あつまれ生き物の浜」の生き物をしらべよう>

低学年児童が、最初に干潟に入り、きらきらビーチの砂浜と砂粒の大きさや、砂の硬さの違いに気づいた。完成仕立ての干潟なので、生き物は見つからないと考えたが、トゲアメフラシを多数発見した。他にはイガイや、イソガニ、ゴカイ、トビムシ等が見つかった。トゲアメフラシを触るのは初めての児童も多く、恐る恐る触りながらその感触を味わい興奮していた。

